

回答者の政党名（所属政党）	選挙区	候補者氏名
佐々木 明美	日本共産党	手稲区
問 1-1 障害者の地域移行を進めるために必要な障害福祉サービスの充実について		
充実することが必要である		
問 1-1 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
障害の有無にかかわらず、誰もが地域で安心、安全に暮らすことができる地域社会を目指すことは、大切なことです。家族の責任にせず、公的責任を明らかにして、福祉サービスを充実させるためには、予算の拡充と職員の強化が必要です。住まいの確保や、移動の支援等、障がい当事者の人権を尊重して、必要な福祉施策を拡充させていく事が、求められていると思います。		
問 1-2 「重度障がい者に必要な在宅介護のあり方に関する意見書」を再検証し、その内容を計画的に実施することについて		
再検証して計画的に実施する		
問 1-2 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
施策を進める際に、当事者の参加の保障と意見を反映させ、「検討会」の提言に沿って重度訪問介護の非定型の導入が再検討されるべきです。		
問 1-3 「重度訪問介護の非定型による支給決定等事務の手引き」の見直しについて		
見直しが必要である		
問 1-3 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
障がい者の個別性を尊重して、現場の声にそくした形で、非定型に関する指針を作成するべき。		
問 1-4 共同生活援助入居者が一時帰宅したときの訪問系サービスの利用について		
一定の要件のもと利用可能とする		
問 1-4 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
当事者と家族が困らないように、グループホームなどの入居者が以前のように、訪問系サービスを利用できるように改善するべき。		
問 1-5 「医療型障がい児入所施設・療養介護」のショートステイ利用等の緊急を要するサービスと障害者手帳の未交付にともなう利用制限について		
必要な場合は利用可能とする		
問 1-5 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
障がい者手帳の取得に時間がかかりすぎる点は、改善し、必要と判断した場合は、非所持でもサービスが受けられるように配慮されるべきだと思います。		
問 1-6 居宅介護（家事援助）等の業務に含まれる「育児支援」の取扱いについて		
育児支援を実施する		
問 1-6 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
国が育児支援を認めているのであれば、札幌市が改善するべきです。		
問 1-7 障害児とその家族に対する支援について		
支援を充実する		
問 1-7 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください		
上限時間を引き上げて、生活実態を考慮して拡充するべき。		

<p>問 2-1 障害の有無、種別、程度により分け隔てる特別支援教育から、障害に応じた支援を確保することで、分け隔てないインクルーシブ教育への転換を計画的に進めることについて</p>
<p>計画的に進める</p>
<p>問 2-1 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください</p>
<p>障がい者権利条約で提唱されたインクルーシブ教育を札幌市も少人数の学校などで計画的に進めるべきです。現在進めている学校統廃合などは、大規模化校につながるため根本から見直し、少人数学級をすすめるべき。</p>
<p>問 2-2 本人・保護者の意見の尊重と地域の普通学校への入学の可否について</p>
<p>入学を拒否しない</p>
<p>問 2-2 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください</p>
<p>地域の学校でインクルーシブの教育の推進を行い、入学について拒否しないこと。受け入れ体制を確保し、環境を整備するべきです。</p>
<p>問 2-3 地域の普通学校への入学にあたっての合理的配慮の公的責任による確保について</p>
<p>公的責任として確保する</p>
<p>問 2-3 の回答に関する理由や手法等に関して自由に記載してください</p>
<p>公的責任で解決できるように、学びのサポーター事業を拡充含め、支援のための教員を確保し、学校の環境を整備する等バリアフリー化も求めます。</p>